

2021 年 12 月 14 日

報道関係 各位

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

事務機械の「全世界出荷に関する 2021 年の見込み及び 2022 年の予測」の発表

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（会長：池田 隆之／東芝テック株式会社 相談役）は、この度、全世界市場を対象とした事務機械の出荷に関する実績と本年見込み及び予測をとりまとめましたので発表致します。

なお、この出荷見込み及び予測の調査にあたっては、外部の調査機関（株式会社インターウォッチ）に委託し、取りまとめを行いました。ホームページに掲載しております事務機械出荷実績（JBMIA 集計）、複写機・複合機出荷統計（JBMIA 集計）は、会員企業の出荷実績のみであることから、今回の予測に用いている数値（全世界メーカーによる出荷合計）とは異なりますのでご注意ください。また、本予測数量及び金額は、事務機械本体のみを対象としています。

2020 年出荷実績

国 内：	3,597 億円（前年比：86.7%）
海 外：	16,183 億円（前年比：81.0%）
総出荷：	19,780 億円（前年比：82.0%）

2021 年見込み

国 内：	3,658 億円（前年比：101.7%）
海 外：	17,346 億円（前年比：107.2%）
総出荷：	21,005 億円（前年比：106.2%）

2022 年予測

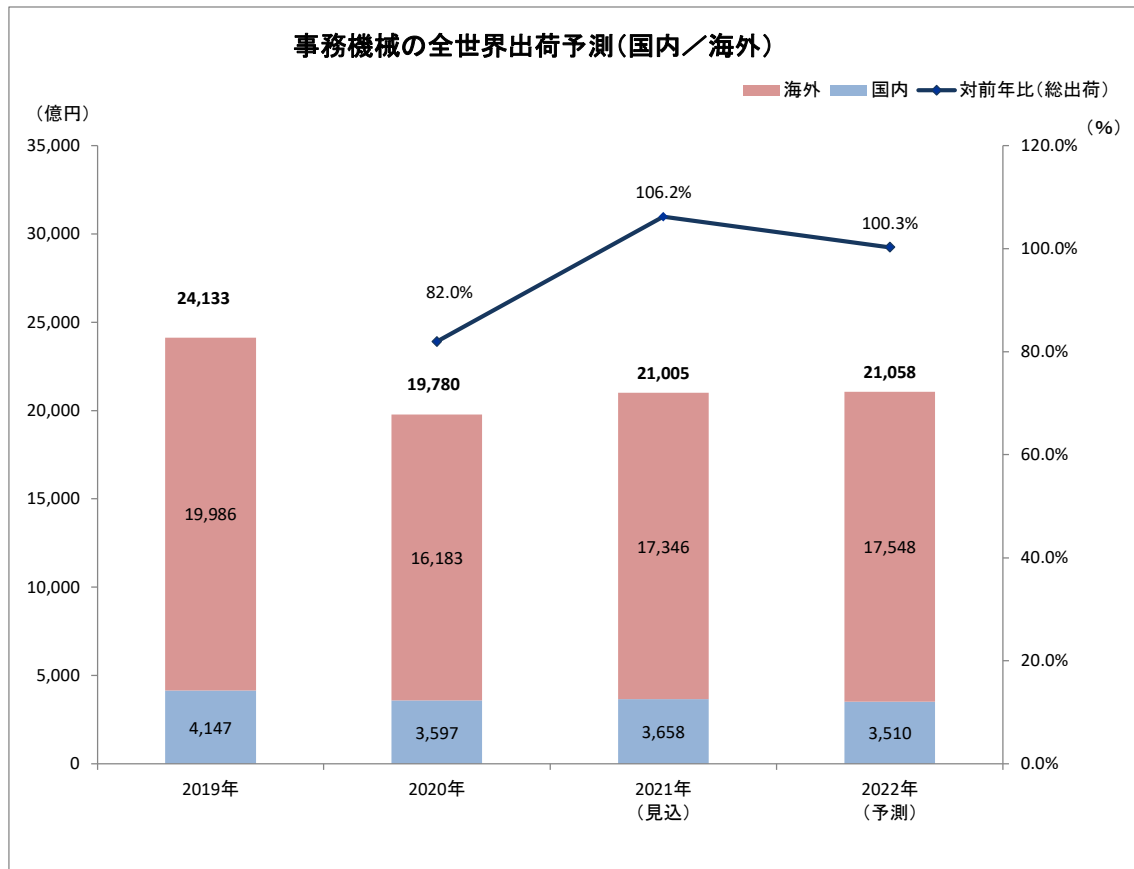
国 内：	3,510 億円（前年比：95.9%）
海 外：	17,548 億円（前年比：101.2%）
総出荷：	21,058 億円（前年比：100.3%）

<注釈>

*本資料の内容は、会員企業の 2019 年及び 2020 年の出荷実績、2021 年見込、2022 予測と会員企業以外の各年度の想定規模を合計したものである。

*2019 年、2020 年及び 2021 年はその年の実勢レートを用い、2022 年の予測については 2021 年の実勢レートをベースに為替影響を除いて金額を算出している。

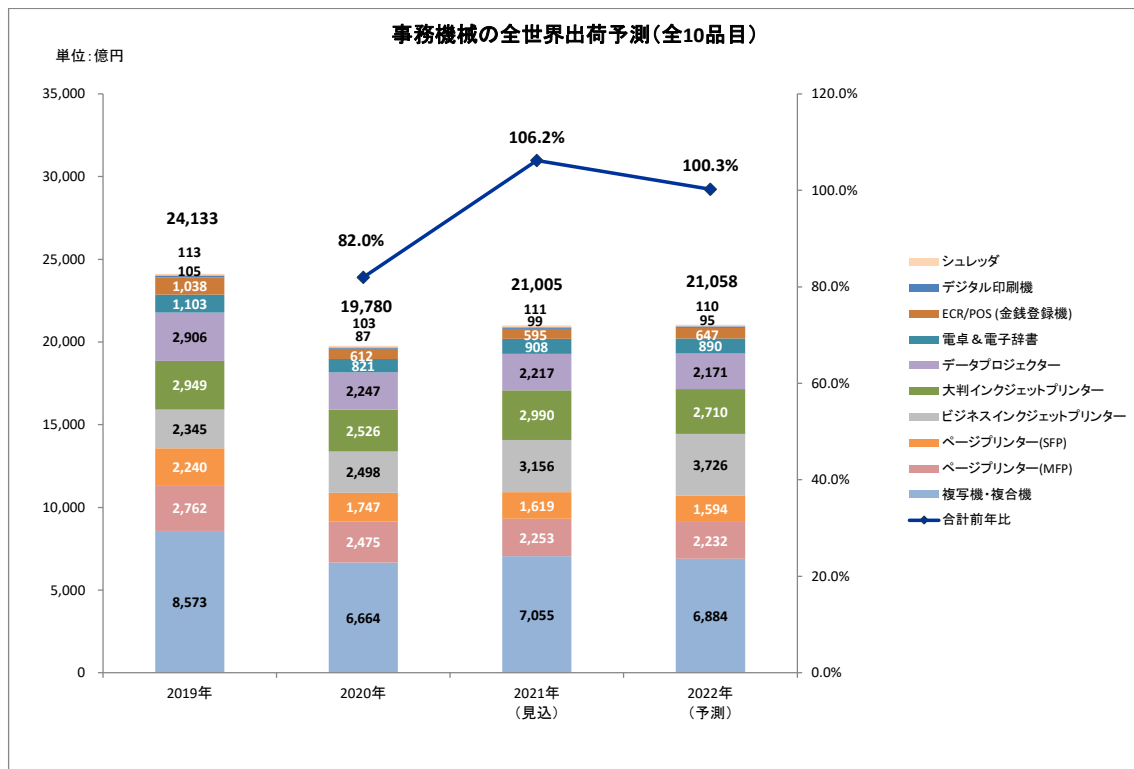
1. 概況



※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた為、参考まで2019年も掲載します。

単位：億円

	2019 年		2020 年		2021 年 (見込)		2022 年 (予測)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
国 内	4,147	—	3,597	86.7%	3,658	101.7%	3,510	95.9%
海 外	19,986	—	16,183	81.0%	17,346	107.2%	17,548	101.2%
合 計	24,133	—	19,780	82.0%	21,005	106.2%	21,058	100.3%



単位：億円

	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
複写機・複合機	8,573	—	6,664	77.7%	7,055	105.9%	6,884	97.6%
ページプリンター(MFP)	2,762	—	2,475	89.6%	2,253	91.0%	2,232	99.1%
ページプリンター(SFP)	2,240	—	1,747	78.0%	1,619	92.7%	1,594	98.4%
ビジネスインクジェットプリンター	2,345	—	2,498	106.6%	3,156	126.3%	3,726	118.0%
大判インクジェットプリンター	2,949	—	2,526	85.7%	2,990	118.4%	2,710	90.6%
データプロジェクター	2,906	—	2,247	77.3%	2,217	98.7%	2,171	97.9%
電卓&電子辞書	1,103	—	821	74.4%	908	110.6%	890	98.0%
ECR/POS (金銭登録機)	1,038	—	612	58.9%	595	97.4%	647	108.7%
デジタル印刷機	105	—	87	83.3%	99	113.2%	95	95.9%
シュレッダ	113	—	103	91.0%	111	107.6%	110	98.8%
合計	24,133	—	19,780	82.0%	21,005	106.2%	21,058	100.3%

【2020 年】

2020 年の事務機械の全世界出荷金額は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け前年比 82.0%、内、国内が同 86.7%、海外が同 81.0%と大きく落ち込んだ。事務機械の出荷金額の 3 分の 1 以上を占める「複写機・複合機」が、オフィス閉鎖による販売活動の制約や商談の延期等により、前年比 77.7%と大幅に減少した影響が大きい。特に、海外は欧米を中心としたロックダウンにより、同 72.7%と大きく落ち込んだ。

「ECR/POS (金銭登録機)」は、営業自粛や閉店により飲食店・サービス業が設備投資出来る環境にはなく、同 58.9%と全品目の中で最も下落率が大きかった。そのほかに、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた品目は、学校閉鎖により文教向け販売が落ち込んだ「電卓&電子辞書」(同 74.4%)、イベント中止や対面会議の回避の影響を受けた「データプロジェクター」(同 77.3%)などが挙げられる。10 品目中 9 品目が減少した中で「ビジネスインクジェットプリンター」は、ビジネスにより適したインク(顔料インク)を採用した大容量インクボトル商品の増加により、コロナ禍でも同 106.6%と伸長した。

【2021 年見込】

世界経済は、国や地域によるばらつきはあるものの、ワクチン接種の浸透に伴う経済活動の再開により、コロナ危機による落ち込みから回復の動きを続けている。日本経済も緊急事態宣言が断続的に発令されているが、外出・行動の抑制度は段階的に縮小しており、緩やかな回復が見込まれている。このような状況の中、2021 年の事務機械の全世界出荷金額は前年比 106.2%、内、国内が同 101.7%、海外が同 107.2%の見通しである。海外は前年の大幅な下落からの反動増で国内よりも高い成長を見込んでいる。

品目別では、「複写機・複合機」、「大判インクジェットプリンター」、「電卓&電子辞書」、「デジタル印刷機」、「シュレッダ」の 5 品目がプラスに転じ、「ビジネスインクジェットプリンター」は顔料インクを採用した大容量インクボトル商品のラインアップ拡充により成長が継続する見込みである。

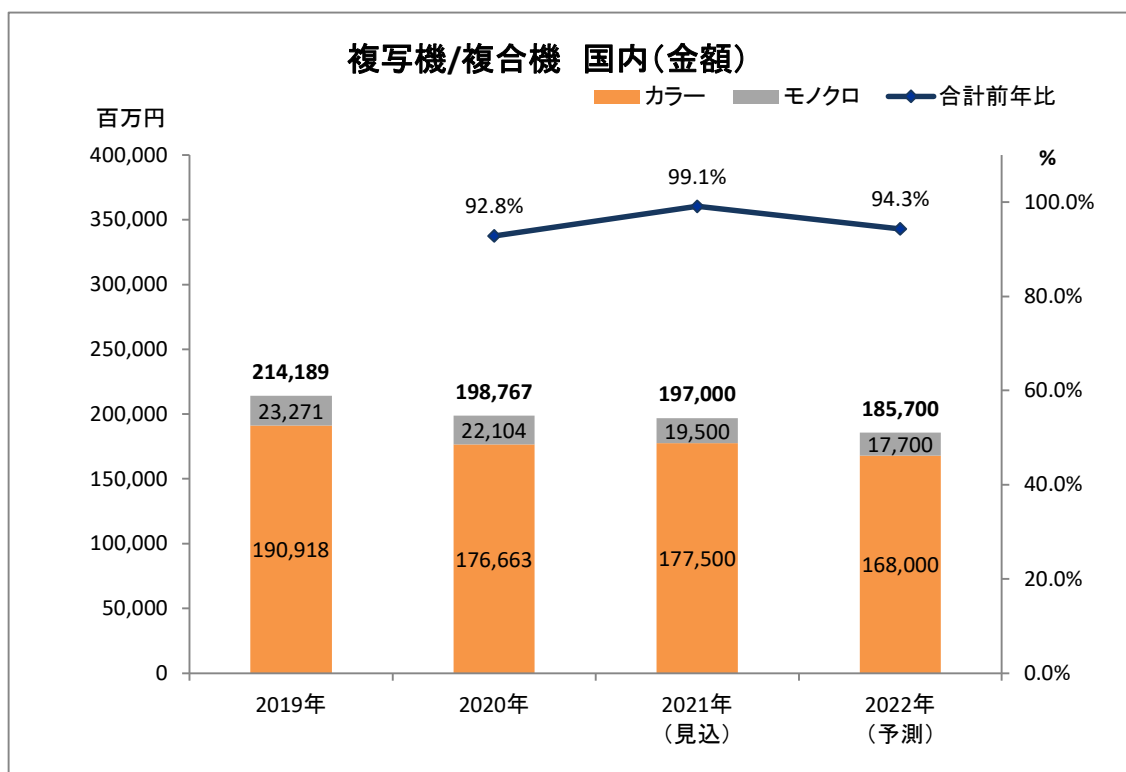
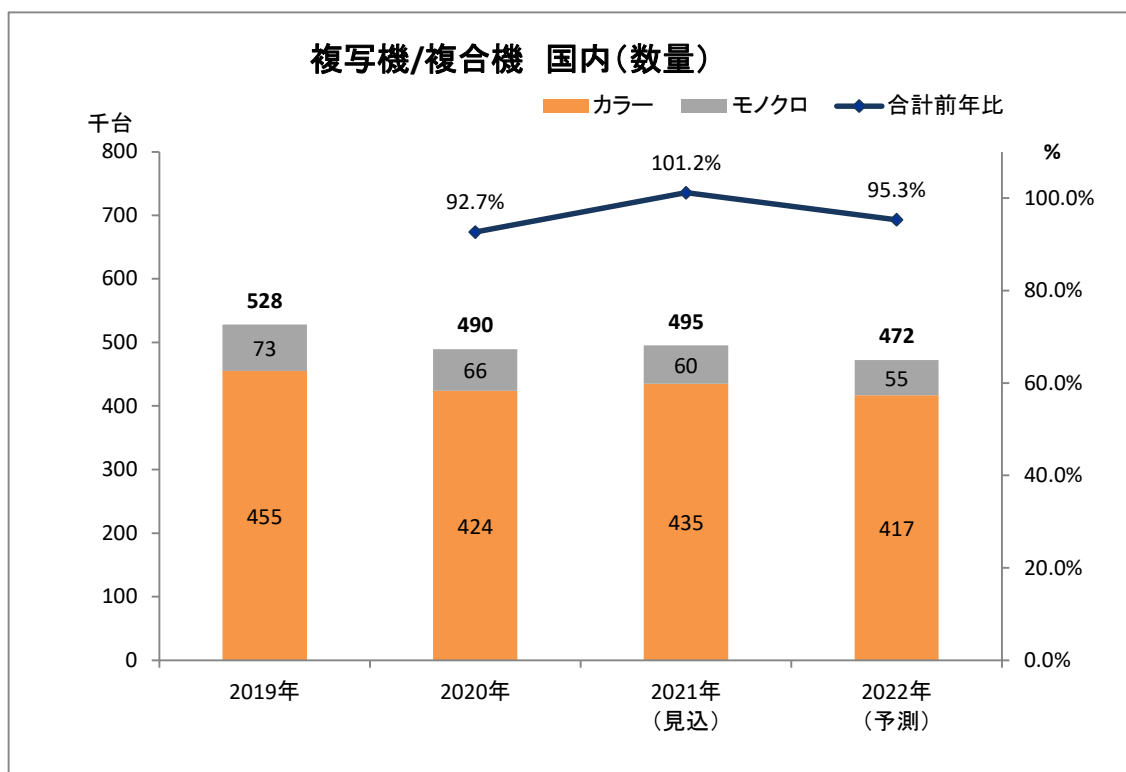
【2022 年予測】

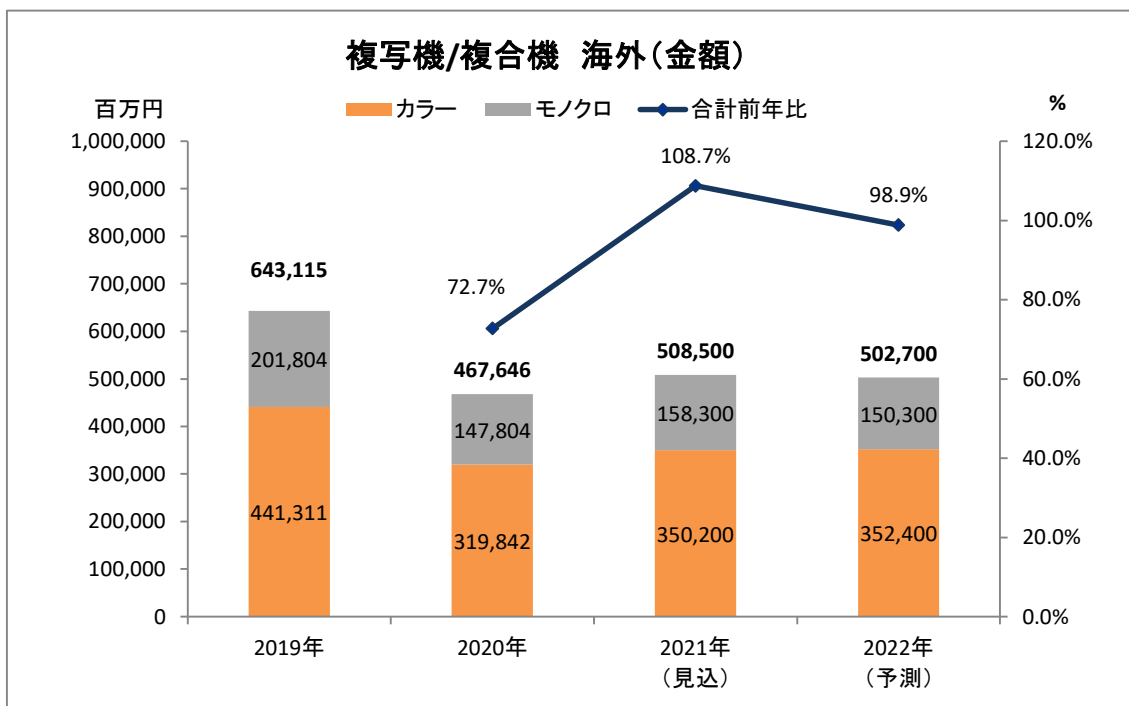
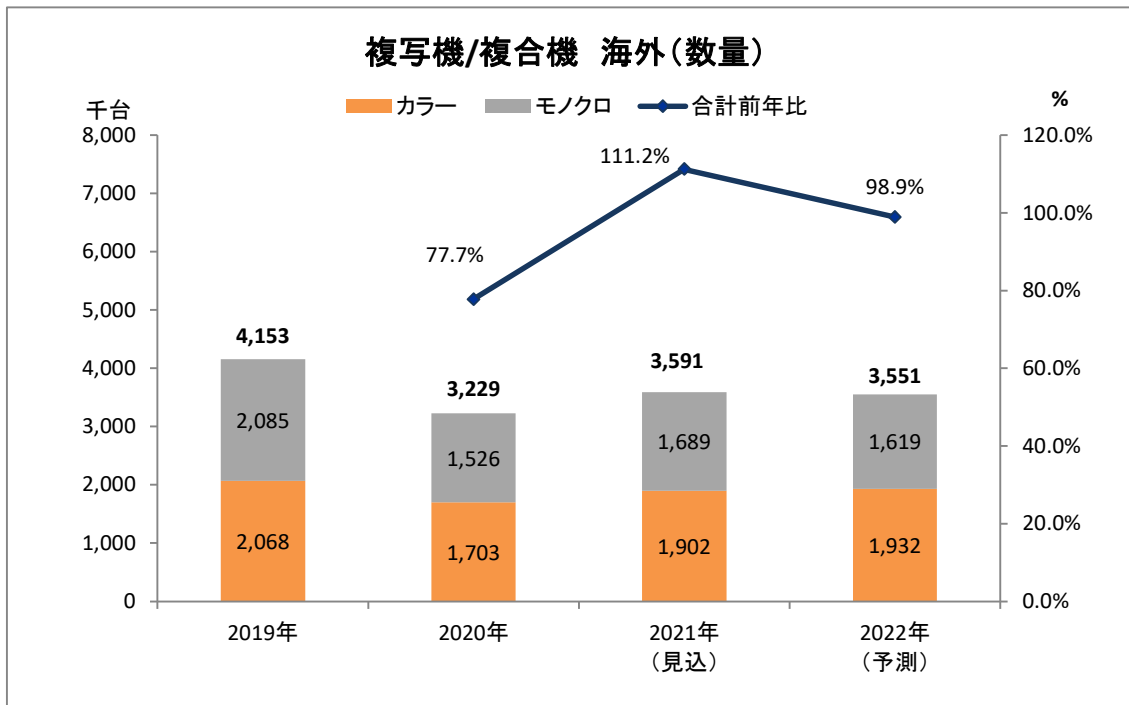
2022 年の事務機械の全世界出荷金額は前年比 100.3%、内、国内が同 95.9%、海外が同 101.2%の予測である。「ビジネスインクジェットプリンター」と「ECR/POS」はプラス成長となるが、全出荷金額に占める比率の高い「複写機・複合機」が再び減少に転じ、そのほかの品目も減少する為、事務機械全体ではほぼ横ばいとなる。

新型コロナウイルス感染症の影響を最も受けた「ECR/POS」は、大手チェーン店等の設備投資が回復することでプラス成長に転じる予測である。

2. 品目別予測

(1) 複写機・複合機





【2020 年】

＜国内市場＞

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により商談機会は減少したが、海外ほどの影響は受けず、モノクロ機は台数ベースで前年比 90.1%、カラー機は同 93.1%、全体では同 92.7%に留まった。特に、カラー機は過去の大型案件の更新需要もあり、落ち込みは緩やかであった

＜海外市場＞

- ・海外は欧米を中心としたロックダウンによるオフィス閉鎖の影響を大きく受け、モノクロ機は台数ベースで前年比 73.2%、カラー機は同 82.3%、全体では同 77.7%の大幅減となった。

【2021 年見込】

＜国内市場＞

- ・国内市場は前年の落ち込みが緩やかであったことと、部材の供給不足等の影響もあり、ほぼ前年並みに留まる見込みである。

＜海外市場＞

- ・前年の大幅な減少の反動により、台数、金額ともプラスに転じる見込みだが、コロナ前の 2019 年レベルには回復しない。

【2022 年予測】

＜国内市場＞

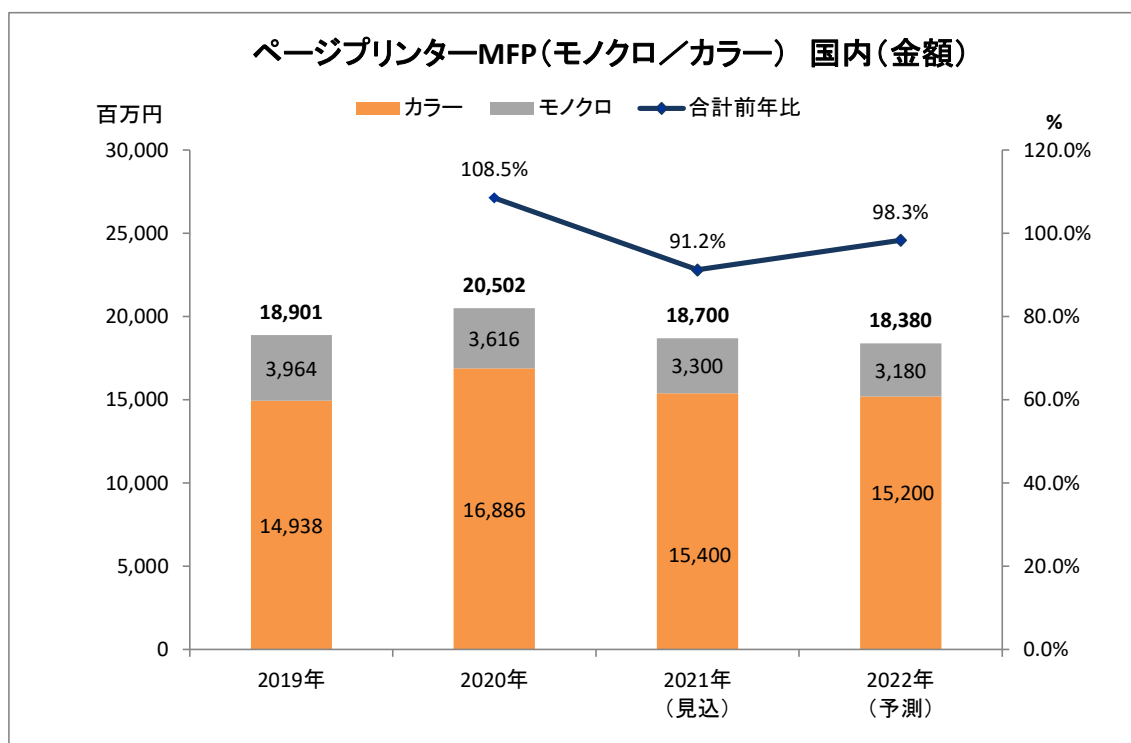
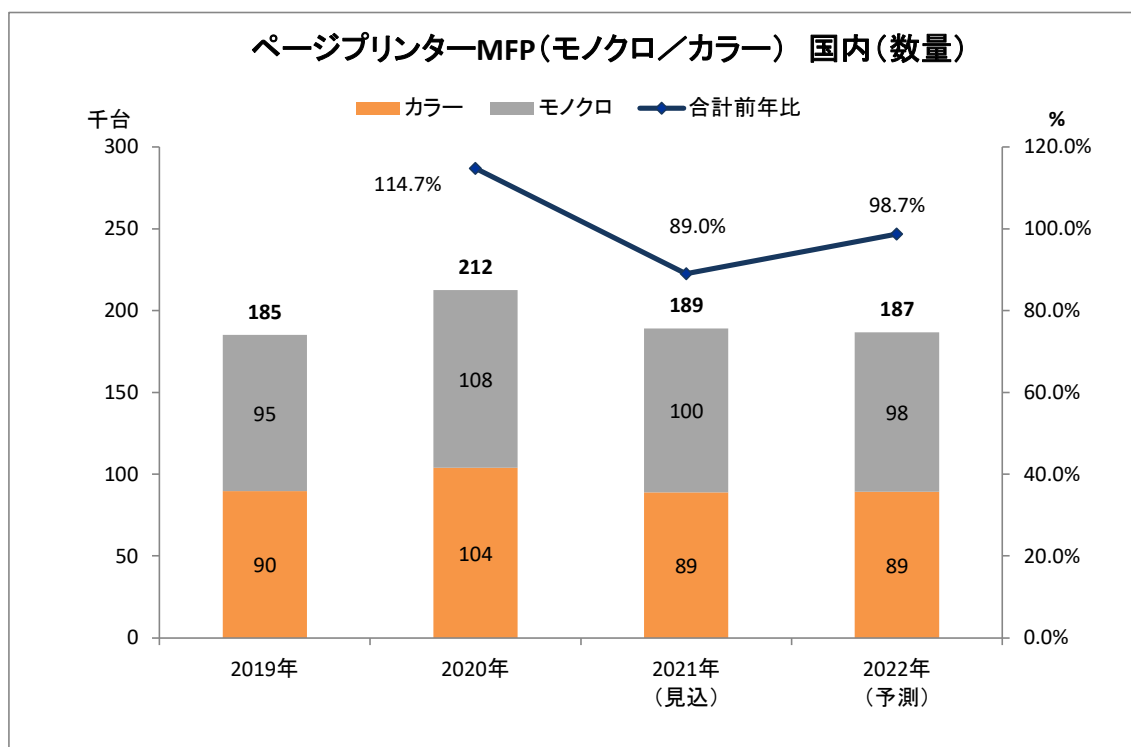
- ・台数、金額とも減少する予測である。

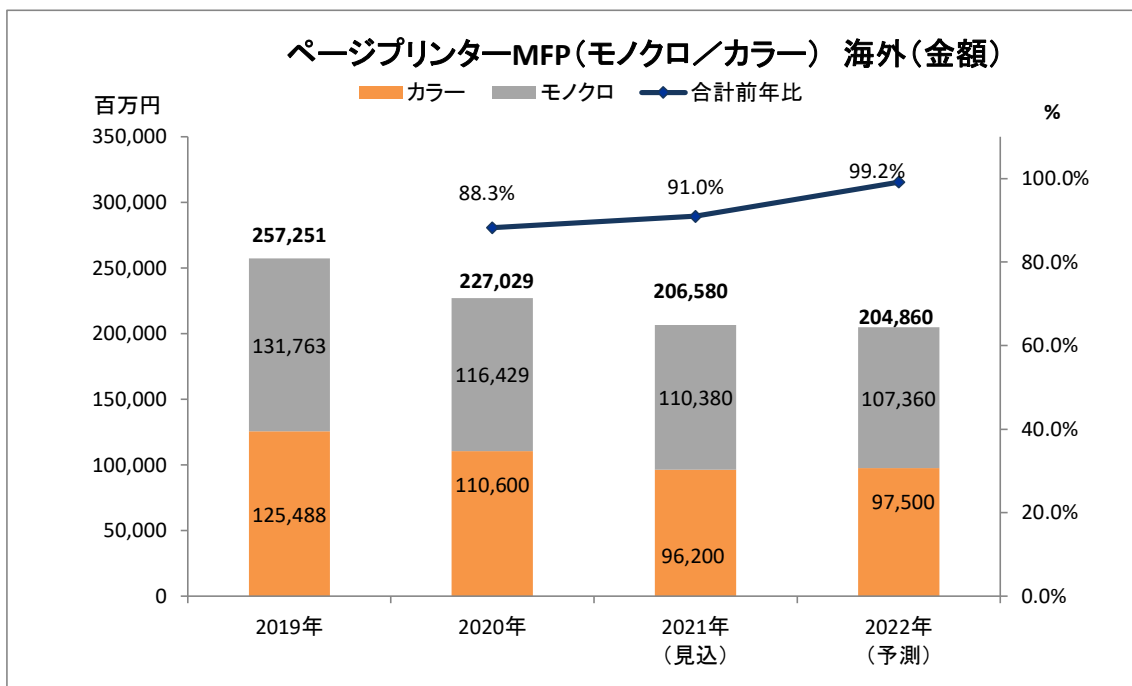
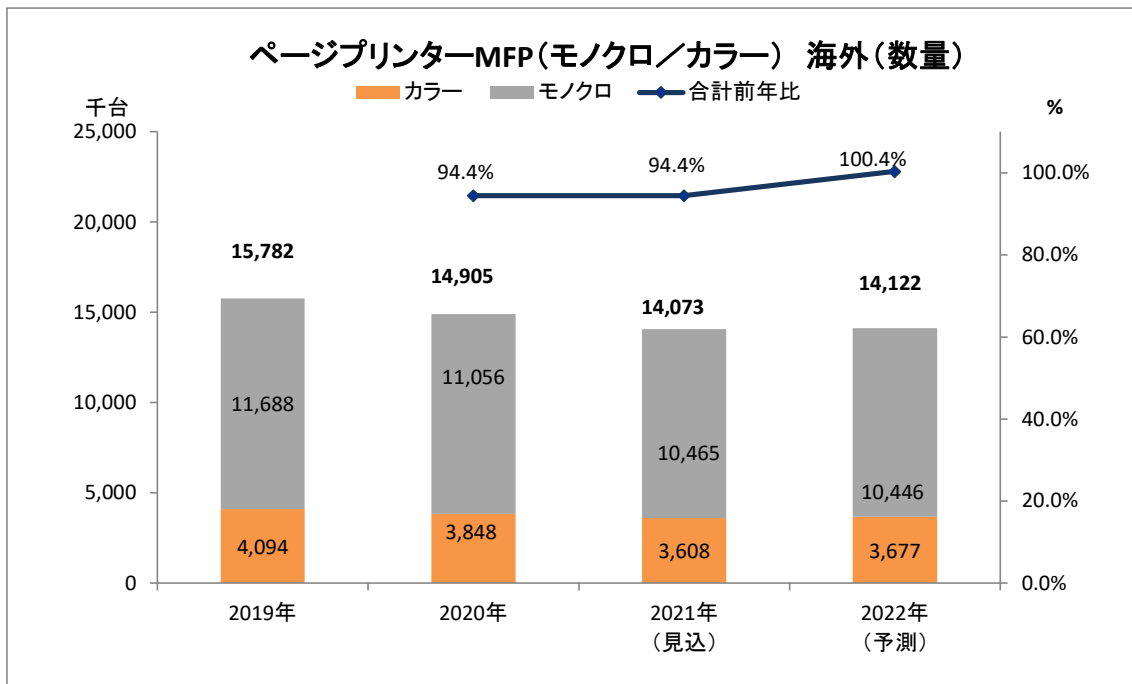
＜海外市場＞

- ・台数、金額ともに減少基調に戻る予測である。カラー機比率が相対的に低い国を中心に白黒機からカラー機へのシフトが進展し、カラー機は数量、金額とも増加する。

＊「複写機・複合機」の対象製品は電子写真方式のみである。

(2) ページプリンター (MFP)





【2020 年】

＜国内市場＞

- ・インクジェットプリンターほどではないが、ページプリンター（MFP）もローエンドモデルによる在宅需要の取り込みなどもあり、モノクロ機は台数ベースで前年比 113.7%、カラー機は同 115.8%、全体では同 114.7%であった。

＜海外市場＞

- ・海外市場は在宅需要のプラス要因以上にオフィス閉鎖による商談減少の影響が大きく、モノクロ機は台数ベースで前年比 94.6%、カラー機は同 94.0%、全体では同 94.4%であった。

【2021 年見込】

＜国内市場＞

- ・前年の大幅増から台数、金額ともにマイナスに転じる見込である。
- ・国内市場のページプリンター（MFP）は A3 サイズが 32%弱を占めており、海外市場と比べて A3 サイズの比率が高いことが特徴となっている。

＜海外市場＞

- ・買い替えサイクルの長期化に加え、ロックダウンによる東南アジア工場の稼働率低下や部材の供給不足等の影響もあり、2021 年も減少が続く見込みである。

【2022 年予測】

＜国内市場＞

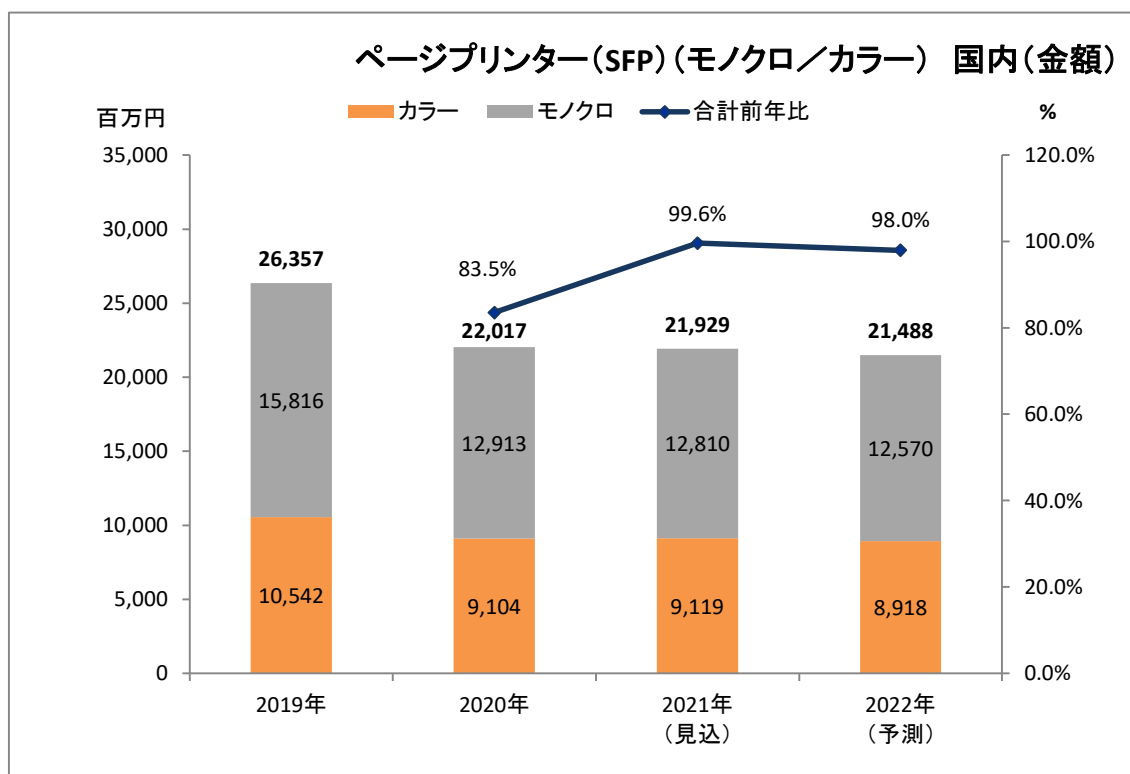
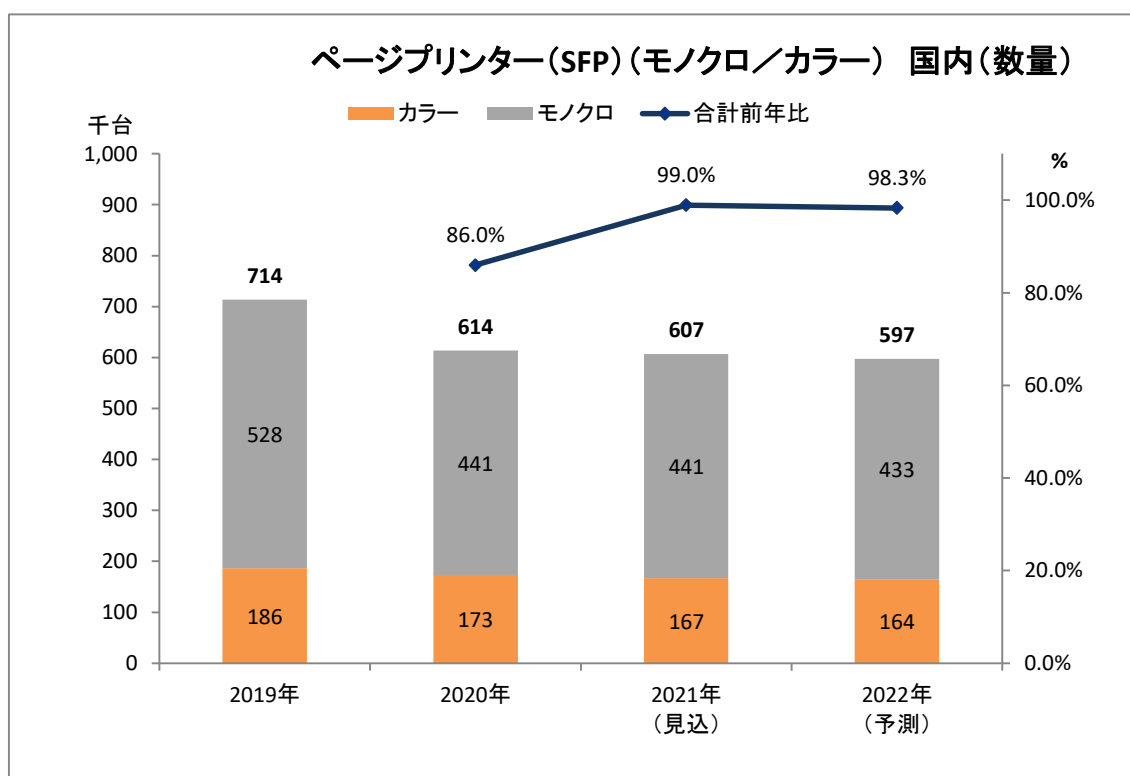
- ・スキャニング用途が必要な病院や店舗などでの底堅い需要やページプリンター（SFP）からの移行はあるものの、買い替えサイクルの長期化やビジネスインクジェット機への移行により微減が予測される。

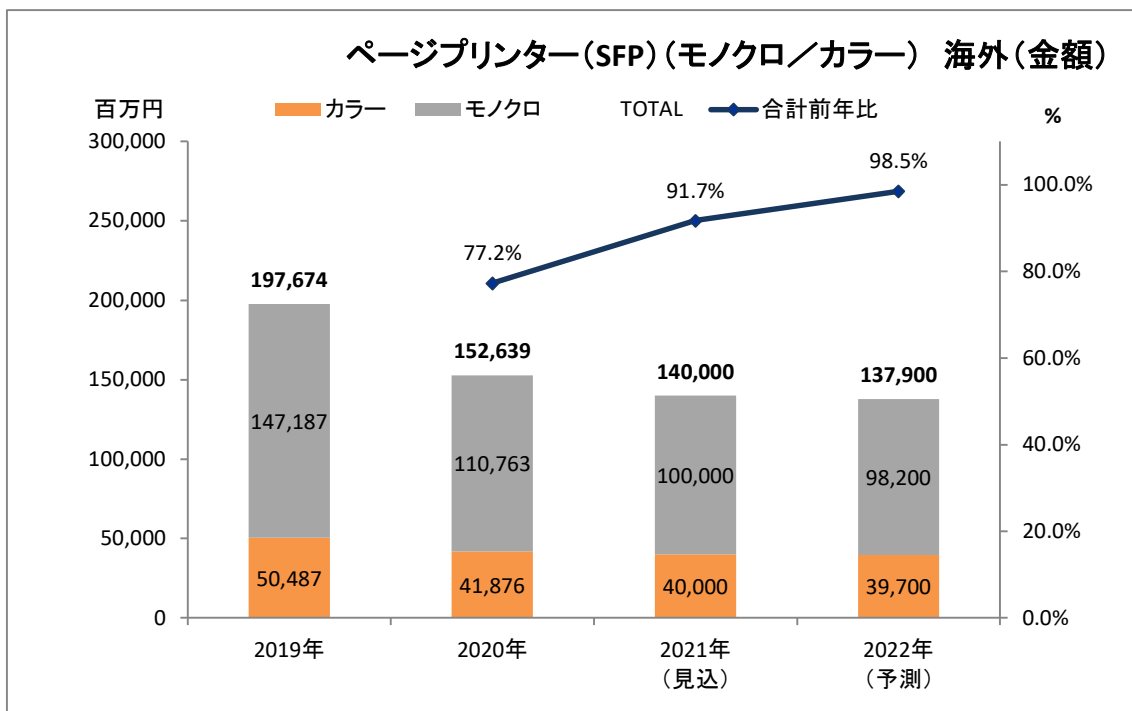
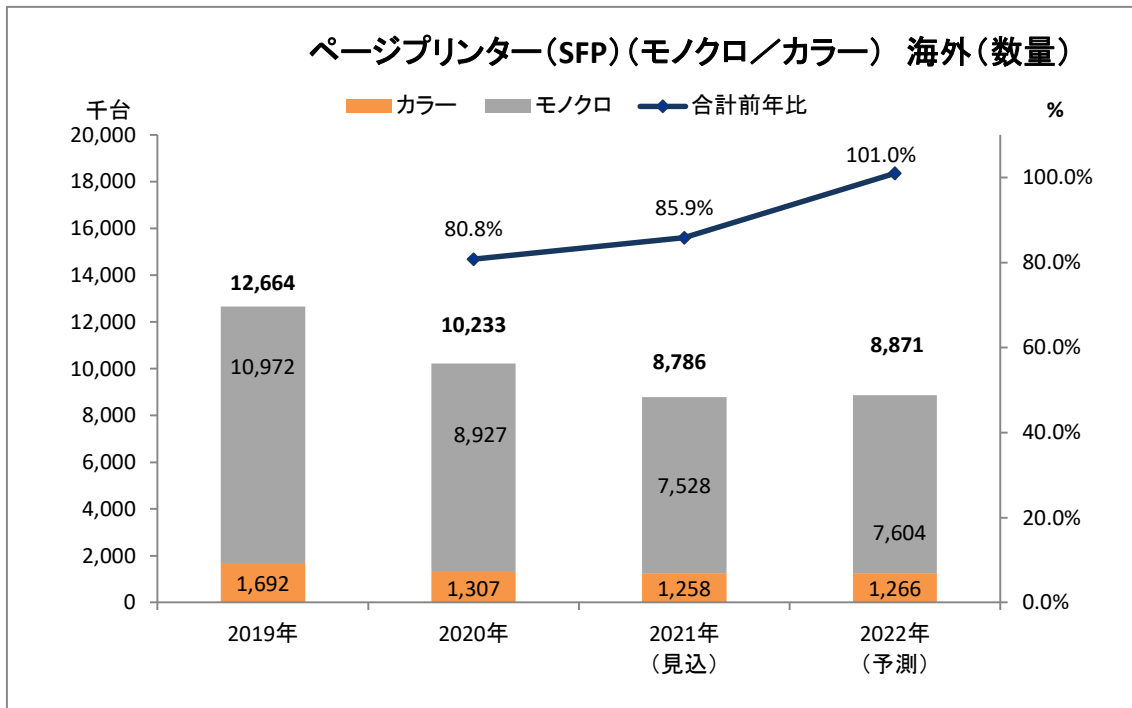
＜海外市場＞

- ・海外市場も国内と同様の傾向ではあるが、各地域・国で新型コロナウイルス感染の状況が落ち着くことで、2021 年まで抑制されていた買い替え需要が若干戻り台数は微増となる。

＊「ページプリンター（MFP）」の対象製品は電子写真方式のみである。

(3) ページプリンター (SFP)





【2020 年】

＜国内市場＞

- ・モノクロ機は台数ベースで前年比 83.5%、カラー機は同 93.1%、全体で同 86.0%であった。

＜海外市場＞

- ・モノクロ機は台数ベースで前年比 81.4%、カラー機は同 77.2%、全体で同 80.8%と新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。リモートワーク向けの単価の安いモノクロ機の需要が増加したため、モノクロ機の落ち込みはカラー機に比べて緩やかだった。

【2021 年見込】

＜国内市場＞

- ・モノクロ機は一括商談などにより前年なみの台数を維持するが、カラー機は前年比 96.2%、全体では同 99.0%の微減の見込みである。

＜海外市場＞

- ・モノクロ機は台数ベースで前年比 84.3%、カラー機は同 96.3%、全体では同 85.9%と減少幅は縮小するものの、引き続きマイナス成長を見込む。
- ・金額に関しては、モノクロ機は同 90.3%、カラー機は同 95.5%、全体では同 91.7%と台数ほどの減少にはならない。2020 年はリモートワークの需要増により単価の安いモノクロ機の比率が上昇したが、2021 年にはその揺り戻しによる製品単価の上昇が見込まれる。

【2022 年予測】

＜国内市場＞

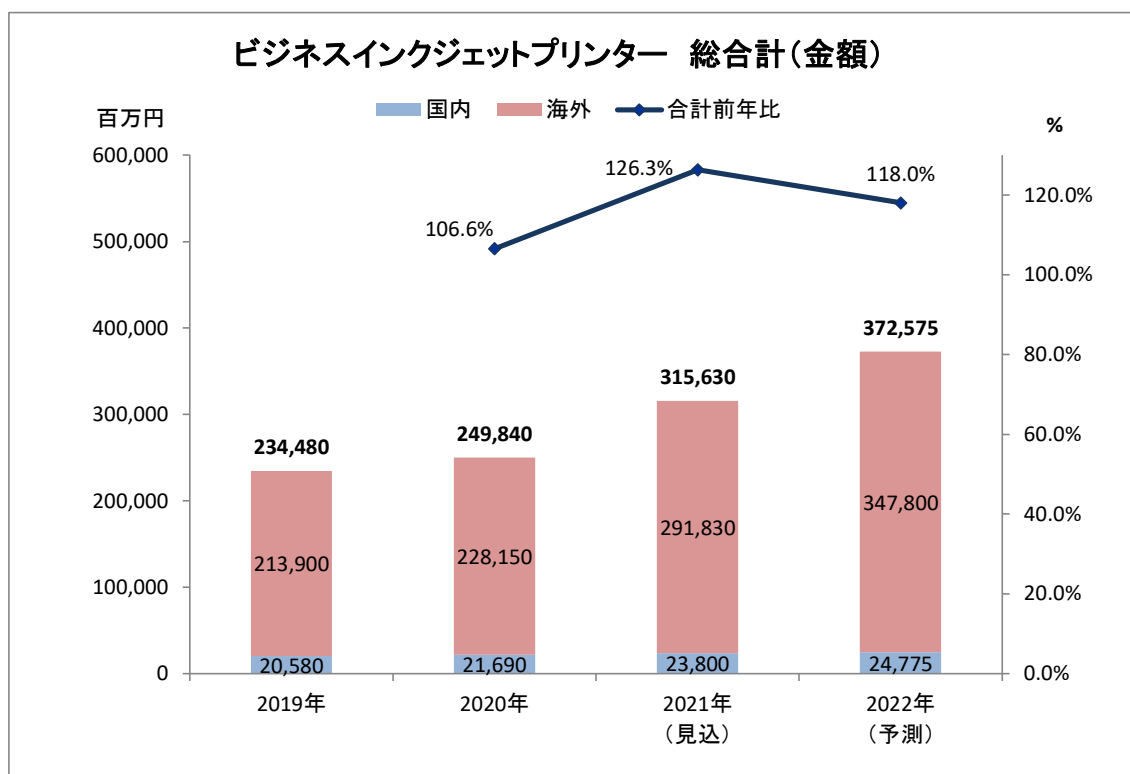
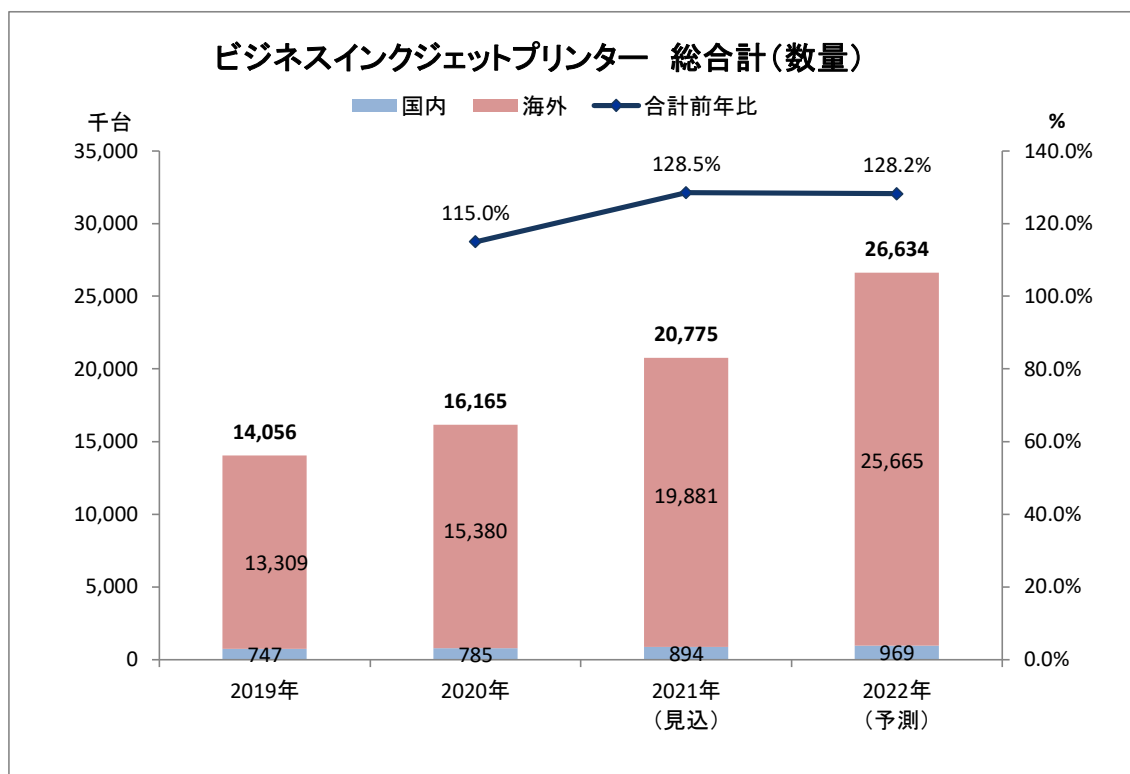
- ・更新需要が主流の市場であるが、買い替えサイクルの長期化やページプリンター（MFP）へのシフトにより、台数、金額ともに減少する。

＜海外市場＞

- ・海外市場も国内と同様の傾向ではあるが、2021 年まで抑制されていた買い替え需要が若干戻ることで、台数は微増となる。

＊「ページプリンター（SFP）」の対象製品は電子写真方式のみである。

(4) ビジネスインクジェットプリンター



【2020 年】

＜国内市場＞

- ・ インクカートリッジを用いた商品はオフィスにおけるロックダウンや営業活動の自粛からくる商談減少に伴い減少した。一方で大容量インクボトルを用いた商品は、ビジネスに適したインク（顔料インク）を採用した商品が増加し、ビジネスインクジェットプリンターの市場が底上げされた形となり、市場は拡大した。

＜海外市場＞

- ・ 日本国内と同様の市場の動きであるが、特に新興国における顔料インクへのシフトが寄与し、数量・金額ともに大きく市場が拡大した。

【2021 年見込】

＜国内市場＞

- ・ 2020 年と同様にオフィスにおけるインクカートリッジを用いた商品の減少を上回る形で顔料インク採用の大容量インクボトル商品が拡大し、市場は拡大する見込みである。

＜海外市場＞

- ・ 新興国の成長に加えて、北米や西欧といった先進国においても顔料インク採用の大容量インクボトル商品が拡大し、2020 年を上回る成長が見込れる。

【2022 年予測】

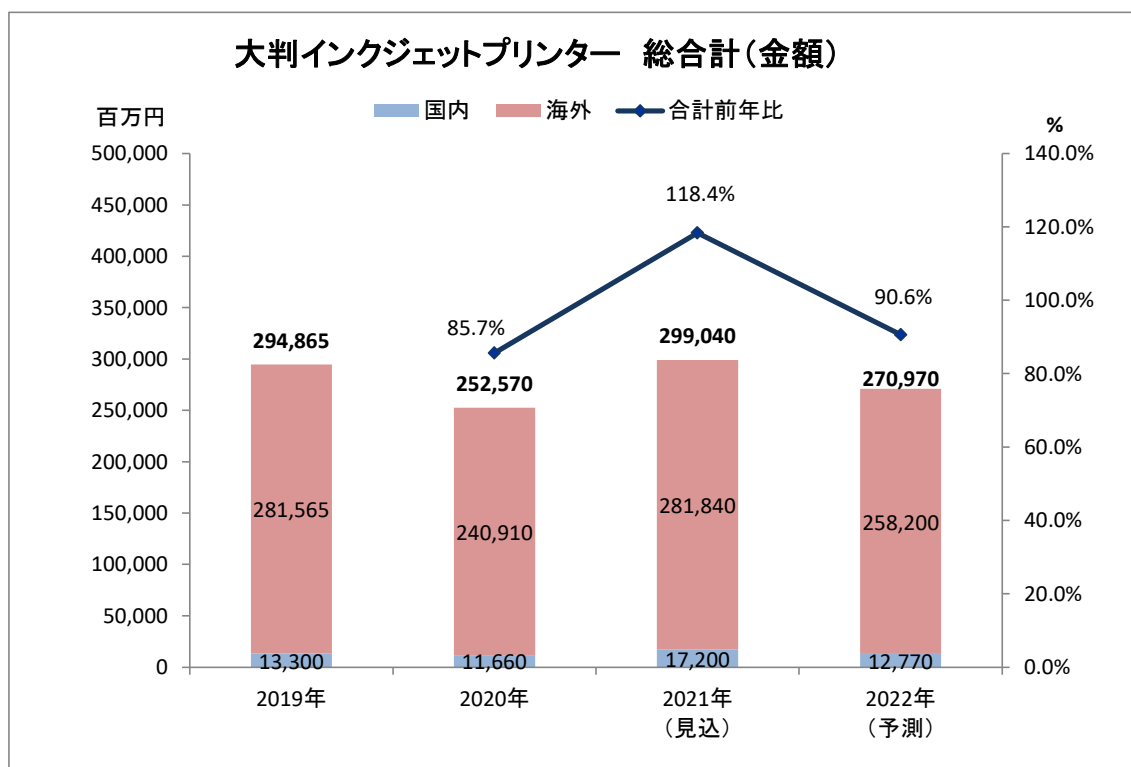
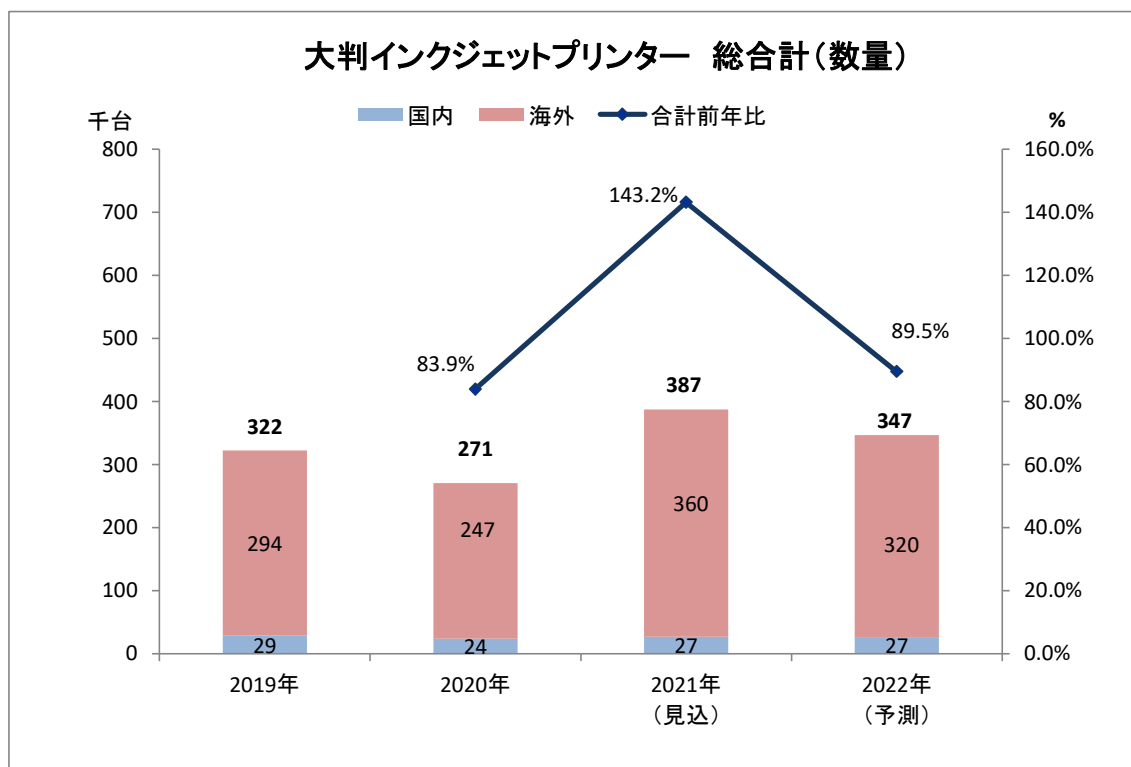
＜国内市場＞

- ・ 顔料インク採用の大容量インクボトル商品のラインアップ拡充により市場の底上げが予測される。

＜海外市場＞

- ・ 引き続き新興国における市場の底上げに加えて、先進国における市場の拡大、また商品ラインアップの拡充などにより市場はさらに拡大すると予測される。

(5) 大判インクジェットプリンター



【2020 年】

＜国内市場＞

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による商談機会の減少により、2020 年前半は大きく落ち込んだが、2020 年後半は少ないながらもオフィスにおける需要の回復や注意勧告を促すようなプリントニーズなども後押しし、年間通じては台数ベースで前年比 82.2%となった。

＜海外市場＞

- ・先進国/新興国に関わらずロックダウンやオフィスにおける就業制限により、需要は低迷し、台数ベースで前年比 84.1%となった。

【2021 年見込】

＜国内市場＞

- ・オフィス/工場/現場における図面ニーズの回復などにより、台数ベースで前年比 114.4%とプラス成長を見込むが、2019 年水準までの回復には至らない。

＜海外市場＞

- ・ロックダウンが続いている地域がある一方で、北米市場をはじめとした図面のリモート出力や、通販による販売拡大効果などにより、台数、金額ともに 2019 年の水準を上回る見込みである。

【2022 年予測】

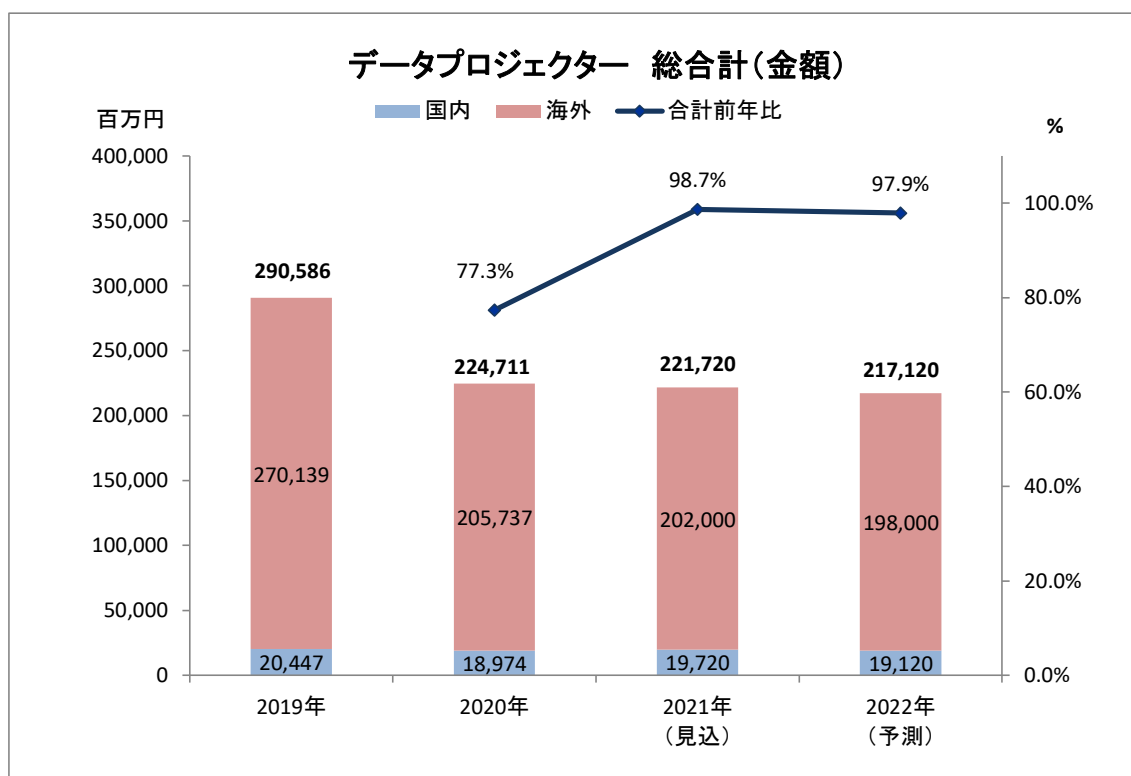
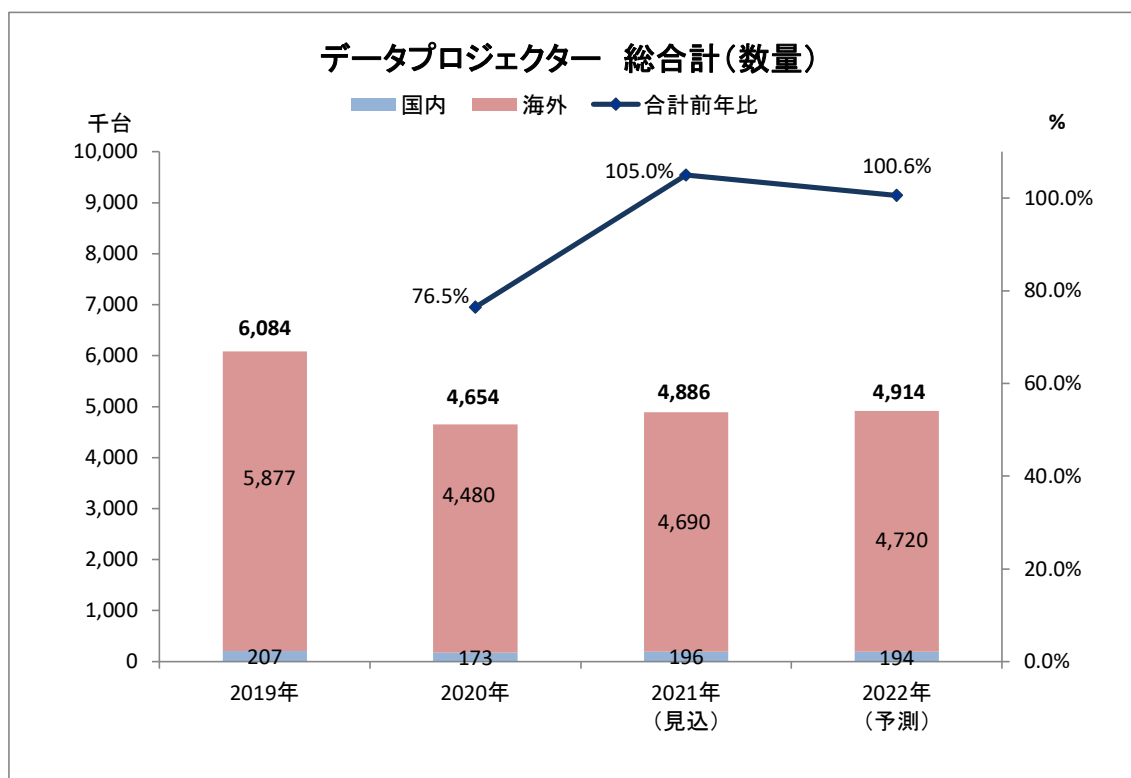
＜国内市場＞

- ・図面出力をメインの用途とするプリンターは、図面の電子化やペーパーレス化により減少、またポスターやサイン物をメインの用途とするプリンターも、その印字テクノロジーのシフトによる拡大要素はあるものの、大きく市場に貢献するものではないと予測される。

＜海外市場＞

- ・新興国における図面出力ニーズ拡大といった要素もあるものの、先進国における図面出力の減少と相殺される形で図面出力ニーズに対応した市場は落ち着くと予測。ポスターやサイン出力に準ずる市場は、商業イベントなどの再開に伴い需要も再び戻ってくるものと予測されるが、2021 年の需要拡大に対する反動や、LED 看板やディスプレイの普及などマイナス要素も大きく、10%程度の減少が予測される。

(6) データプロジェクター



【2020 年】

＜国内市場＞

- ・新型コロナウイルスの影響によるイベント自粛、在宅勤務の普及と大人数の会議回避が徹底され、数量ベースで前年比 83.6%となった

＜海外市場＞

- ・欧州及び北米を中心にロックダウンが断行されたことにより、日本市場以上に大幅減となった。

【2021 年見込】

＜国内市場＞

- ・新型コロナウイルスからの需要回復傾向に加え、2016 年から導入された学校向け製品のリプレース需要があり、台数ベースで前年比 113.4%を見込む。ただし、企業向け会議室用途の回復は望めず、低迷状態が続くものと予測される。

＜海外市場＞

- ・前年の落ち込みの反動により、台数ベースで同 104.7%を見込むが、リモートワークの普及により企業向け用途の回復は期待できず、欧州、北米を中心に厳しい状況が続く。

【2022 年予測】

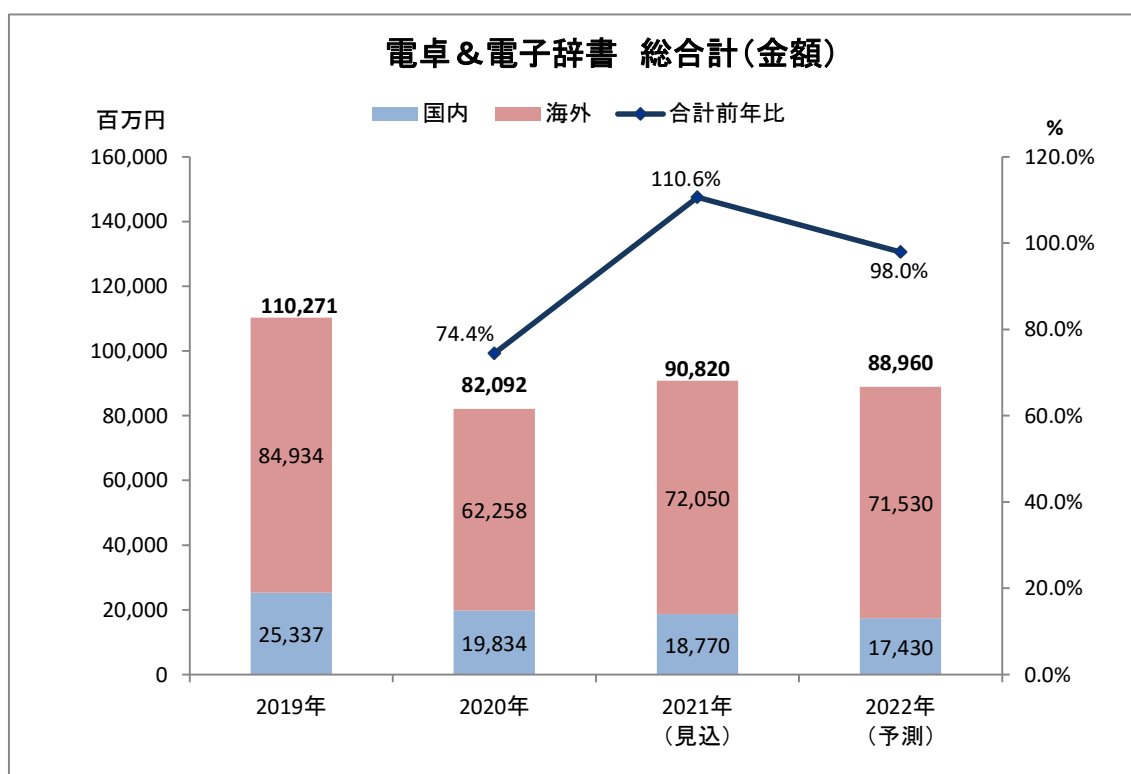
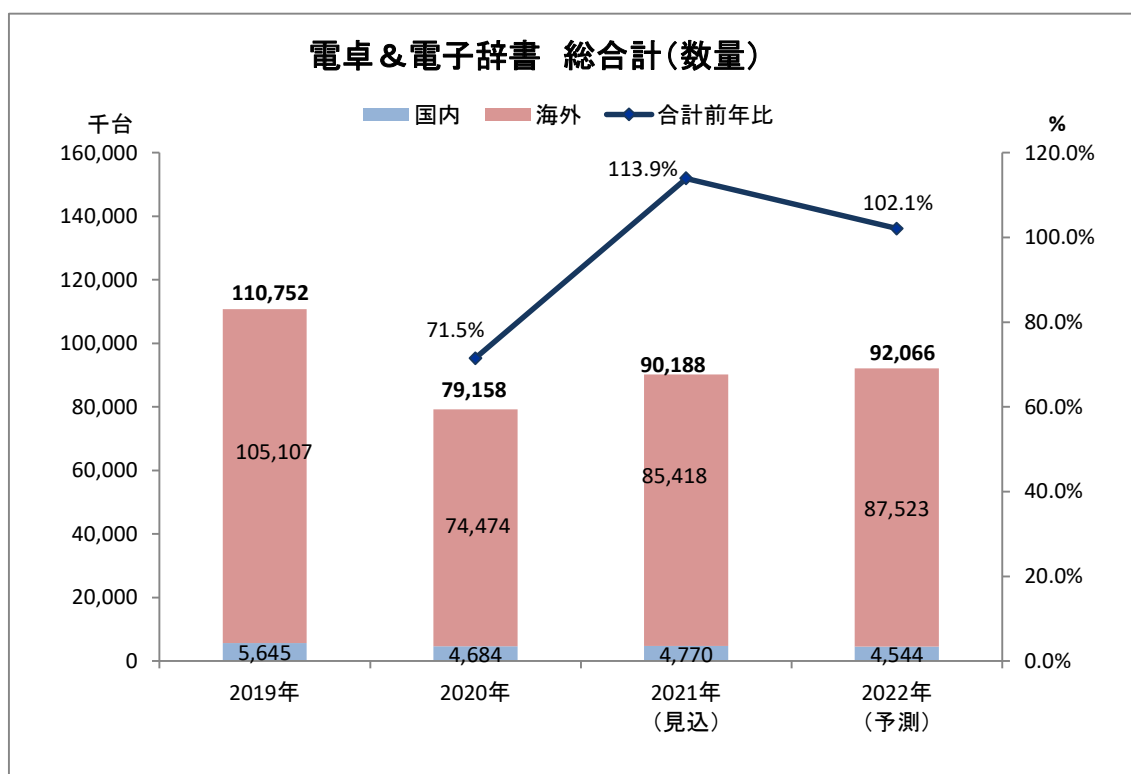
＜国内市場＞

- ・2021 年に引き続きイベント開催回復の不透明感、在宅勤務の継続、大人数会議の自粛などが影響し、前年並みと予測される。

＜海外市場＞

- ・海外においても中国冬季オリンピックの無観客開催などイベント需要が不透明であること、国内同様在宅勤務が継続されるため、前年並みと予測される。

(7) 電卓&電子辞書



【2020 年】

<国内市場>

- ・電卓市場は、コロナ禍でオフィスへの出勤率が低下したことで法人向け電卓は減少したが、在宅需要（個人向け）が下支えをし、台数ベースで前年比 86.6%に留まった。
- ・電子辞書市場は、特に 4-6 月期にボリュームゾーンである高校生への販売が学校の一時閉鎖により減少したことや店頭閉鎖の影響により、台数ベースで前年比 68.0%と大きく落ち込んだ。

<海外市場>

- ・海外の電卓市場は、文教向けの関数電卓の販売比率が高く、学校閉鎖の影響により前年比 69.1%の大幅な減少となった。
- ・海外の電子辞書市場は中国市場が主流のため、コロナの影響は最小限に留まった。

【2021 年見込】

<国内市場>

- ・電卓市場は、台数ベースで前年比 104.5%と回復を見込む。
- ・電子辞書は、新型コロナウイルスの影響と小中学校に対する GIGA スクール構想の進展により、引き続き減少を見込む。

<海外市場>

- ・電卓市場は、学校の再開により販売単価の高い欧米市場向けの関数電卓が回復し、数量ベースよりも金額ベースの成長が上回る見込みである。
- ・電子辞書は 2021 年には中国市場の経済回復によって需要も回復する見込みである。

【2022 年予測】

<国内市場>

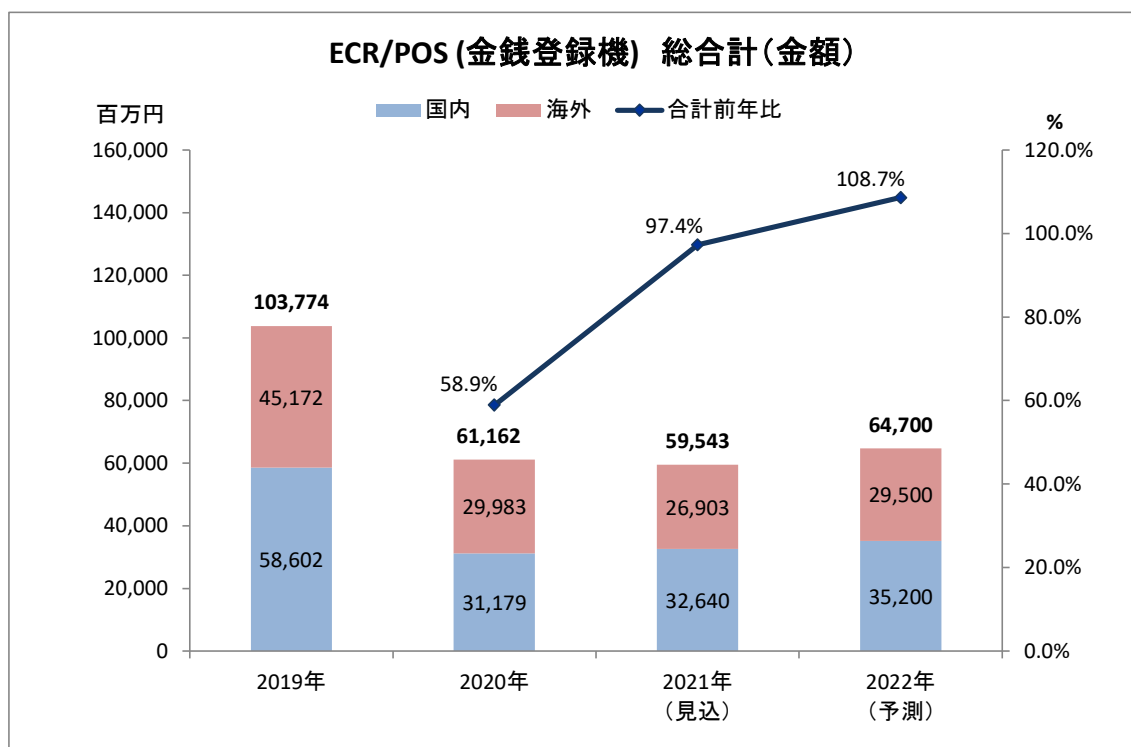
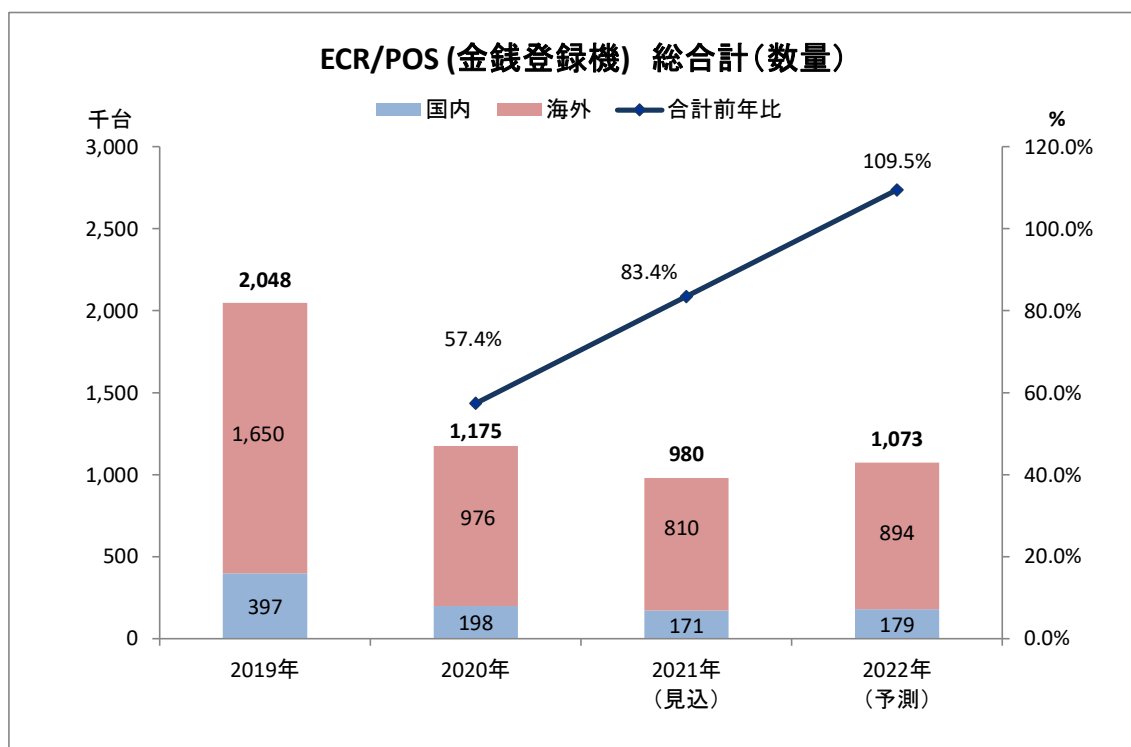
- ・電卓市場は、これまでの減少傾向に再び戻り、数量ベースでは前年比 96.1%と予測される。
- ・電子辞書市場は、教育現場の ICT 化の進展によりソフトウェアでの提供が増加することで減少が予測される。

<海外市場>

- ・電卓市場は、アジア・中南米市場を中心に廉価の電卓が回復するため、数量は増加するが低価格帯の商品が増加し金額ベースではほぼ横ばいに留まる。
- ・電子辞書市場は、海外においても教育現場の ICT 化が進展し、数量、金額ともに減少が予測される。

* 「電卓」には 100 円均一ショップ等で販売されている海外製の低価格製品は含まない。

(8) ECR/POS (金銭登録機)



【2020 年】

＜国内市場＞

- ・新型コロナウイルスによる飲食店及びサービス業者が営業自粛及び閉鎖/閉店の事態にあり、設備投資できる環境になく、ECR、POS ともに過去最低の実績となった。特に、個人経営店ユーザーの多い ECR への影響が大きかった

＜海外市場＞

- ・欧州及び北米のロックダウンによる影響が大きく、日本市場以上に厳しい結果となった。

【2021 年見込】

＜国内市場＞

- ・飲食店及びサービス業者の本格的な事業再開、新規出店がいつになるのか市場の動きが読めない状況ではあるが、従来の個人経営店は減少し、大手及び中堅チェーン店の設備投資が徐々に回復していくと見ている。これにより、台数ベースでは減少が続くものの、機械単価の上昇により金額ベースではプラスに転じる見込みである。

＜海外市場＞

- ・回復が遅れており、台数、金額ベースともにマイナス成長の見込みである。

【2022 年予測】

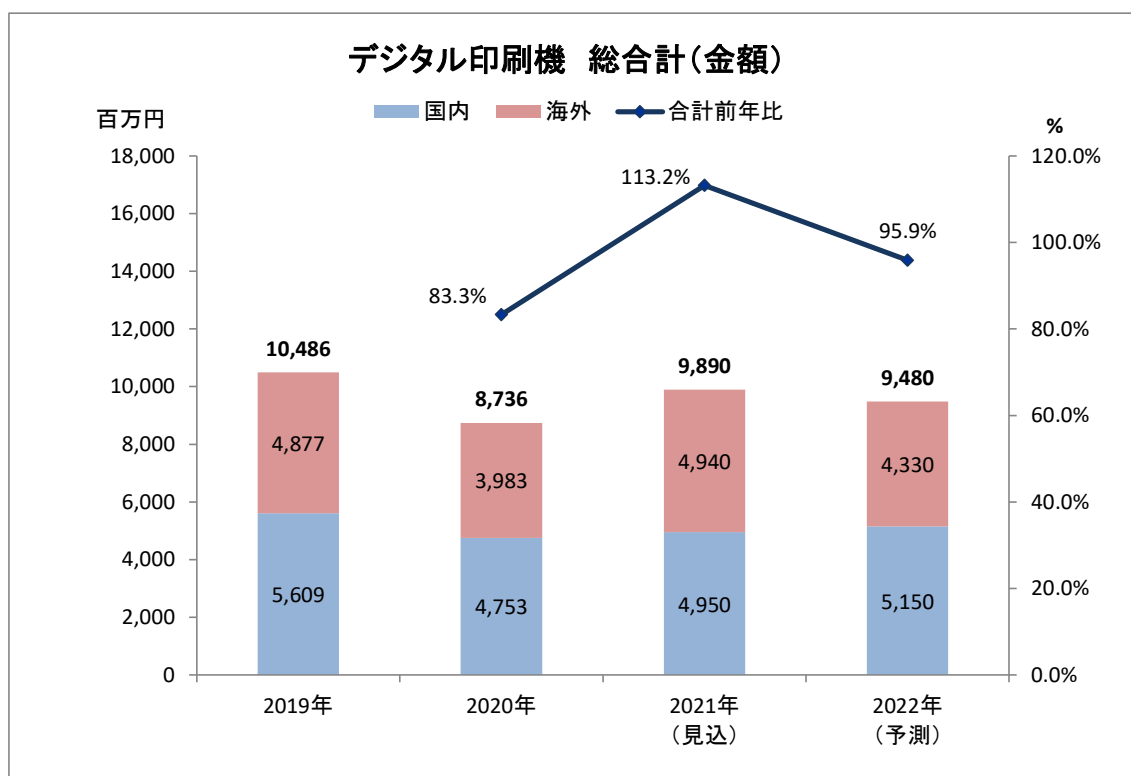
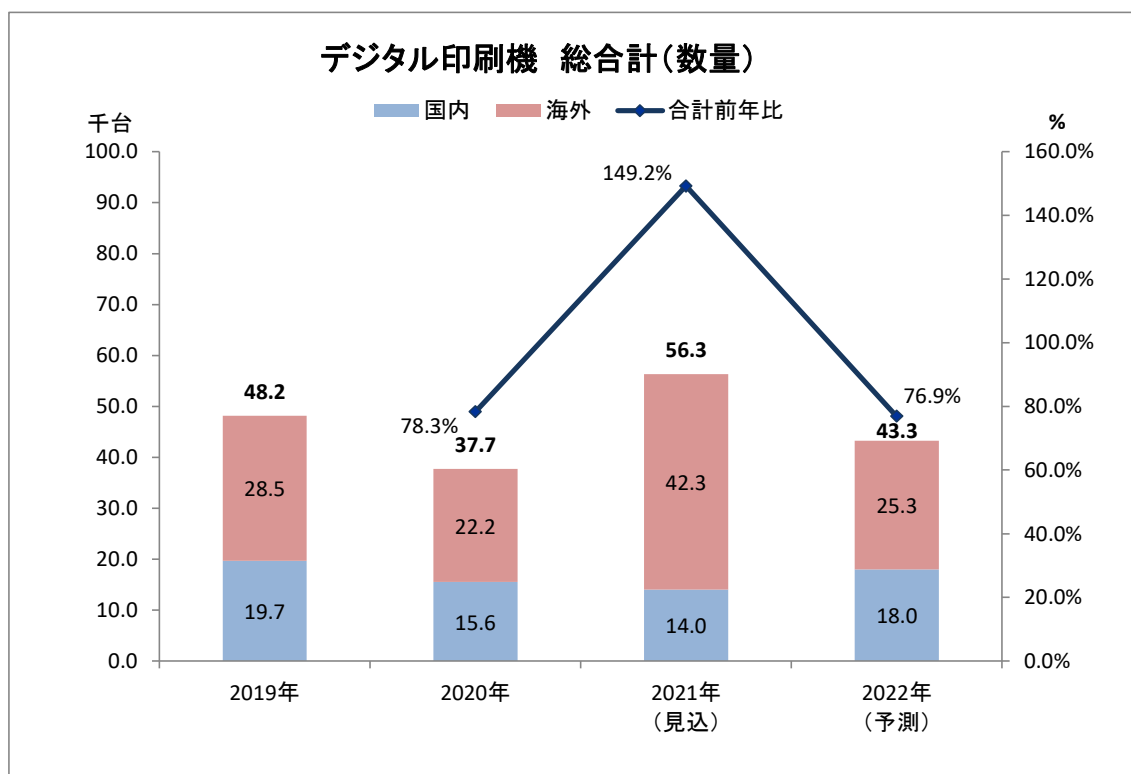
＜国内市場＞

- ・新型コロナの影響が一段落し、大手チェーン店などの設備投資が回復し、台数ベースで前年比 104.9%とプラス成長が予測されるが、2019 年レベルの市場規模には遠く及ばない。

＜海外市場＞

- ・回復が遅れていた海外市場もようやく回復し、これまでの落ち込みの反動増により台数ベースで前年比 110.4%のプラス成長が予測される。しかしながら、国内同様に 2019 年レベルの市場規模には遠く及ばない。

(9) デジタル印刷機



【2020 年】

<国内市場>

- ・デジタル印刷機の主なユーザーのうち自治体はコロナ禍でも大きく需要が落ちることとはなかったが、学校は閉鎖の影響を大きく受け、全体では台数ベースで前年比 79.1%となった。

<海外市場>

- ・新型コロナウイルスの影響により、台数ベースで前年比 77.8%と落ち込んだ。

【2021 年見込】

<国内市場>

- ・2021 年については、2020 年から本格的に開始された GIGA スクール構想の影響を受けて、文教の ICT 化が加速していることから需要減が見込まれる。

<海外市場>

- ・2021 年度は一括案件などによって数量ベース、金額ベースで瞬間的に大きな回復をみせる見込みである。

【2022 年予測】

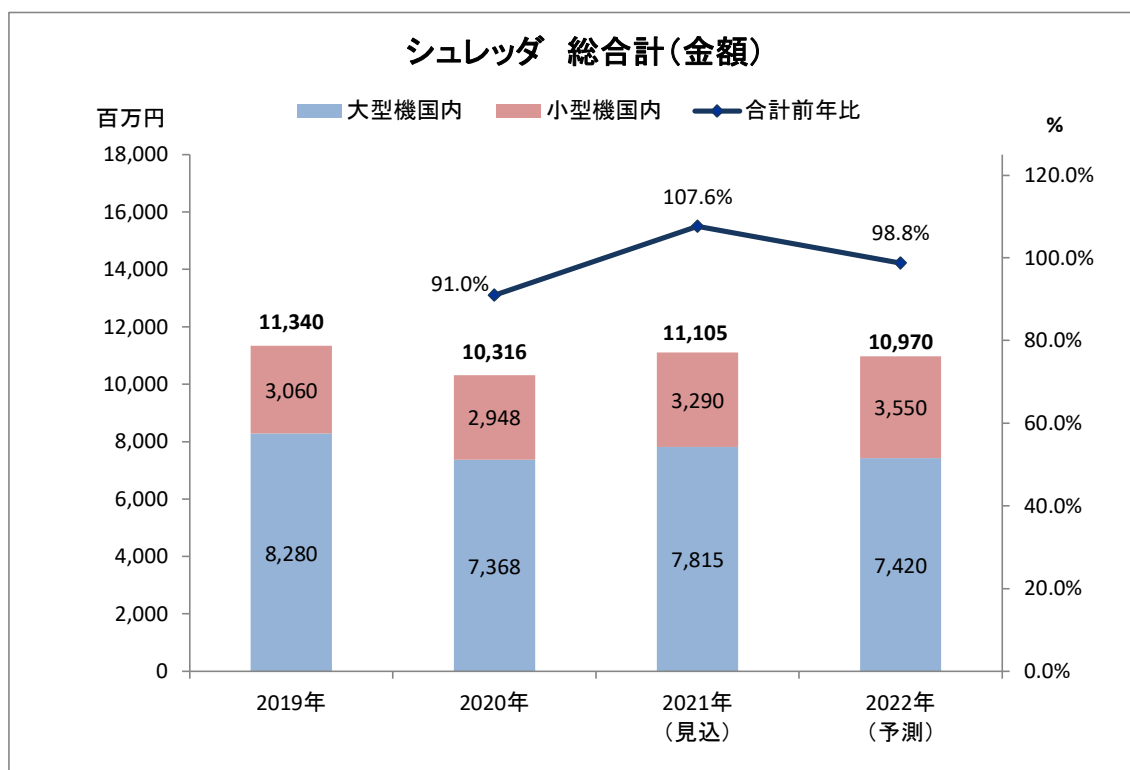
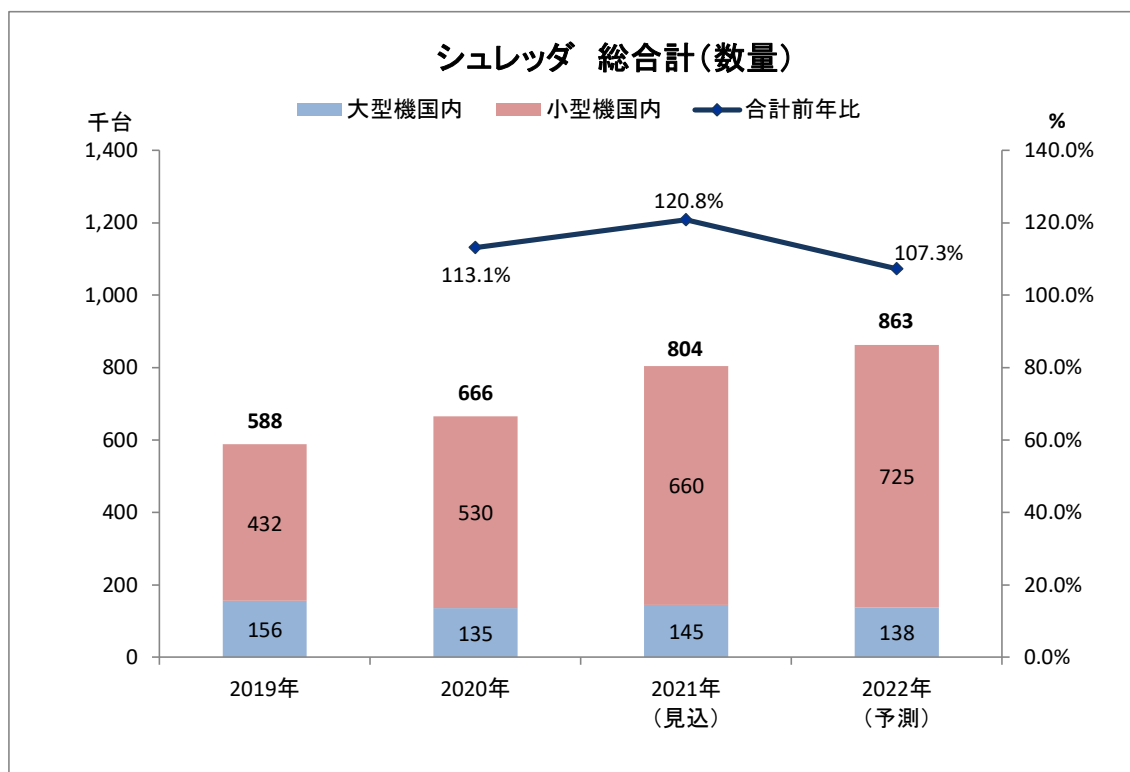
<国内市場>

- ・2022 年は GIGA スクールの影響も一段落し、自治体や文教においては底堅い需要があることから、一時的ではあるが市場が回復するものと予測される。

<海外市場>

- ・前年の案件による大幅増からの反動で、2022 年は減少に転じるものと予測される。

(10) シュレッダ



【2020 年】

＜国内市場＞

- ・ 緊急事態宣言などによる大都市部のオフィス人口の減少、それに伴う在宅勤務の常態化により、大型機の減少、小型機の大幅増との結果になった。大型機はセキュリティを重視した高単価商品の貢献により単価が上昇した一方、小型機は在宅勤務者が自宅で活用する 1 万円以下の需要増により単価は下降した。

【2021 年見込】

＜国内市場＞

- ・ 大型機は前年の落ち込みからの反動により台数ベースで前年比 107.0%のプラス成長となる見込みである。小型機は引き続き在宅勤務向けの需要により、同 124.4%の成長を見込む。

【2022 年予測】

＜国内市場＞

- ・ 大型機は台数ベースで前年比 95.0%、小型機は在宅勤務向けの需要が続き同 110.0% 総計では同 107.3%のプラス成長となる。2023 年以降は在宅勤務向けの需要が一巡するため、2022 年が国内市場のピークと予測される。

事務機械の「全世界出荷に関する2021年の見込及び2022年予測」

単位: 百万円、千台、%

品目			2020 年				2021 年(見込)				2022 年(予測)			
			金額	前年比	台数	前年比	金額	前年比	台数	前年比	金額	前年比	台数	前年比
複写機 複合機	モノクロ 複写機・ 複合機	国内	22,104	95.0	66	90.1	19,500	88.2	60	91.6	17,700	90.8	55	92.0
		海外	147,804	73.2	1,526	73.2	158,300	107.1	1,689	110.7	150,300	94.9	1,619	95.8
		合計	169,908	75.5	1,592	73.8	177,800	104.6	1,750	109.9	168,000	94.5	1,674	95.7
	カラー 複写機・ 複合機	国内	176,663	92.5	424	93.1	177,500	100.5	435	102.6	168,000	94.6	417	95.8
		海外	319,842	72.5	1,703	82.3	350,200	109.5	1,902	111.7	352,400	100.6	1,932	101.6
		合計	496,505	78.5	2,127	84.3	527,700	106.3	2,337	109.9	520,400	98.6	2,349	100.5
	合計	国内	198,767	92.8	490	92.7	197,000	99.1	495	101.2	185,700	94.3	472	95.3
		海外	467,646	72.7	3,229	77.7	508,500	108.7	3,591	111.2	502,700	98.9	3,551	98.9
		合計	666,413	77.7	3,718	79.4	705,500	105.9	4,086	109.9	688,400	97.6	4,023	98.4
ページ プリンター(MFP)	モノクロ機	国内	3,616	91.2	108	113.7	3,300	91.3	100	92.4	3,180	96.4	98	97.3
		海外	116,429	88.4	11,056	94.6	110,380	94.8	10,465	94.7	107,360	97.3	10,446	99.8
		合計	120,046	88.4	11,165	94.7	113,680	94.7	10,565	94.6	110,540	97.2	10,543	99.8
	カラー機	国内	16,886	113.0	104	115.8	15,400	91.2	89	85.5	15,200	98.7	89	100.3
		海外	110,600	88.1	3,848	94.0	96,200	87.0	3,608	93.8	97,500	101.4	3,677	101.9
		合計	127,486	90.8	3,952	94.5	111,600	87.5	3,697	93.5	112,700	101.0	3,766	101.9
	合計	国内	20,502	108.5	212	114.7	18,700	91.2	189	89.0	18,380	98.3	187	98.7
		海外	227,029	88.3	14,905	94.4	206,580	91.0	14,073	94.4	204,860	99.2	14,122	100.4
		合計	247,531	89.6	15,117	94.7	225,280	91.0	14,262	94.3	223,240	99.1	14,309	100.3
ページ プリンター(SFP)	モノクロ機	国内	12,913	81.6	441	83.5	12,810	99.2	441	100.0	12,570	98.1	433	98.4
		海外	110,763	75.3	8,927	81.4	100,000	90.3	7,528	84.3	98,200	98.2	7,604	101.0
		合計	123,676	75.9	9,367	81.5	112,810	91.2	7,969	85.1	110,770	98.2	8,038	100.9
	カラー機	国内	9,104	86.4	173	93.1	9,119	100.2	167	96.2	8,918	97.8	164	98.2
		海外	41,876	82.9	1,307	77.2	40,000	95.5	1,258	96.3	39,700	99.3	1,266	100.7
		合計	50,980	83.5	1,480	78.8	49,119	96.3	1,425	96.3	48,618	99.0	1,430	100.4
	合計	国内	22,017	83.5	614	86.0	21,929	99.6	607	99.0	21,488	98.0	597	98.3
		海外	152,639	77.2	10,233	80.8	140,000	91.7	8,786	85.9	137,900	98.5	8,871	101.0
		合計	174,656	78.0	10,847	81.1	161,929	92.7	9,394	86.6	159,388	98.4	9,468	100.8
ビジネスインクジェットプリンター		国内	21,690	105.4	785	105.1	23,800	109.7	894	113.9	24,775	104.1	969	108.4
		海外	228,150	106.7	15,380	115.6	291,830	127.9	19,881	129.3	347,800	119.2	25,665	129.1
		合計	249,840	106.6	16,165	115.0	315,630	126.3	20,775	128.5	372,575	118.0	26,634	128.2
大判インクジェットプリンター		国内	11,660	87.7	24	82.2	17,200	147.5	27	114.4	12,770	74.2	27	98.3
		海外	240,910	85.6	247	84.1	281,840	117.0	360	146.0	258,200	91.6	320	88.8
		合計	252,570	85.7	271	83.9	299,040	118.4	387	143.2	270,970	90.6	347	89.5
データプロジェクター		国内	18,974	92.8	173	83.6	19,720	103.9	196	113.4	19,120	97.0	194	98.9
		海外	205,737	76.2	4,480	76.2	202,000	98.2	4,690	104.7	198,000	98.0	4,720	100.6
		合計	224,711	77.3	4,654	76.5	221,720	98.7	4,886	105.0	217,120	97.9	4,914	100.6
電卓 & 電子辞書	電卓	国内	4,317	90.6	3,933	86.6	4,570	105.9	4,110	104.5	4,430	96.9	3,950	96.1
		海外	46,718	67.9	68,198	69.1	57,000	122.0	79,250	116.2	57,000	100.0	81,496	102.8
		合計	51,035	69.3	72,132	69.8	61,570	120.6	83,360	115.6	61,430	99.8	85,446	102.5
	電子 辞書	国内	15,517	75.4	750	68.0	14,200	91.5	660	87.9	13,000	91.5	594	90.0
		海外	15,540	96.5	6,276	98.5	15,050	96.8	6,168	98.3	14,530	96.5	6,027	97.7
		合計	31,057	84.7	7,026	94.0	29,250	94.2	6,828	97.2	27,530	94.1	6,620	97.0
	合計	国内	19,834	78.3	4,684	83.0	18,770	94.6	4,770	101.8	17,430	92.9	4,544	95.3
		海外	62,258	73.3	74,474	70.9	72,050	115.7	85,418	114.7	71,530	99.3	87,523	102.5
		合計	82,092	74.4	79,158	71.5	90,820	110.6	90,188	113.9	88,960	98.0	92,066	102.1
ECR/POS (金銭登録機)		国内	31,179	53.2	198	49.9	32,640	104.7	171	86.0	35,200	107.8	179	104.9
		海外	29,983	66.4	976	59.2	26,903	89.7	810	82.9	29,500	109.7	894	110.4
		合計	61,162	58.9	1,175	57.4	59,543	97.4	980	83.4	64,700	108.7	1,073	109.5
デジタル印刷機		国内	4,753	84.7	16	79.1	4,950	104.1	14	90.0	5,150	104.0	18	128.6
		海外	3,983	81.7	22	77.8	4,940	124.0	42	190.8	4,330	87.7	25	59.8
		合計	8,736	83.3	38	78.3	9,890	113.2	56	149.2	9,480	95.9	43	76.9
シュレッダ		国内/大型	7,368	89.0	135	86.6	7,815	106.1	145	107.0	7,420	94.9	138	95.0
		国内/小型	2,948	96.3	530	122.8	3,290	111.6	660	124.4	3,550	107.9	725	110.0
		合計	10,316	91.0	666	113.1	11,105	107.6	804	120.8	10,970	98.8	863	107.3
総合計		国内	359,692	86.7	7,861	86.8	365,814	101.7	8,167	103.9	350,983	95.9	8,049	98.6
		海外	1,618,335	81.0	123,946	78.0	1,734,643	107.2	137,651	111.1	1,754,820	101.2	145,690	105.8
		合計	1,978,027	82.0	131,807	78.5	2,100,457	106.2	145,819	110.6	2,105,803	100.3	153,739	105.4

※台数は端数処理の関係で内訳の計と合計が一致しない場合があります。

※台数の前年比は端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合があります。

*調査会社：(株)インターウォッチ（全 10 品目）

以上

本件に関するお問い合わせ：

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

統計委員会

事務局 岡野 聖史

広報担当

横森 聡、冠野 博信

(TEL : 03-6809-5010、FAX : 03-3451-1770)